	事業所名	たけっこ	支援プロ] グラム	作成日	<mark>令和 7</mark> 年	1	月	15 日							
	法人(事業所)理念	子供たちに「遊び」を通じてしっかりと体を動れ	かしてもらい、楽しみながらでこ	ぼこの一つ一つを埋めていきま	इं च ै 。											
	支援方針	1.事業所の指導員は、児童が「楽しさ、遊び」を れている環境に応じて、楽しく習得できる場とし 2.事業所の指導員等は、利用者及び児童の意思 3.事業の実施に当たっては、地域との結び付きを に努めます。	して適切な指導及び訓練を行うも 及び人格を尊重し、常に利用者及	のとします。 び児童の立場に立ってサービス	スの提供を行う事とします	- o										
		支援内容														
	健康・生活	・手指衛生や咳エチケット等の基本的な感染予防行動の定着を図る。 ・利用者の感覚過敏やこだわり特性を考慮した衛生習慣の支援を行う。 ・自己表現の促進を目的とした、安心できる環境の提供。														
	運動・感覚	・感覚遊具を活用した運動プログラムの実施。 ・個々の感覚特性に応じた支援。 ・運動を通じてボディーイメージの向上に繋げる支援。														
本人支援	認知・行動	・メタ認知能力の発達に向けて、自己の思考や行動を客観的に振り返る機会を設ける。 ・感覚統合を活用した活動(感覚刺激を取り入れた課題)を通して新しい状況に適応できる力を育む。 ・自身の意見を適切なに伝え、感情のコントロールを養う。														
	言語 コミュニケーション	・日常生活や様々なシチュエーションに応じた言葉の使い方を学ぶ。 ・遊びや活動を通じた楽しみながら会話をする機会の提供。														
	人間関係 社会性	・他者との適切な関わり方を身につけられる機会を設けることで協調性を高める。 ・遊びや活動を通じて共感することや相手の気持ちを考える力を養う。 ・集団生活でのルールを学び、社会性の向上に向けた支援。														
	家族支援	・発達の状況、支援内容、家庭での困りごとに対 ・家庭や仕事の事情による送迎の支援。	・卒業後の必要なスキんのける。 ・日常的な連携に加えていきます。													
・事業所での支援内容を学校や保育園等とも共有し、統一した対応を行う。 地域支援・地域連携 ・地域の避難所を確認し、実際に避難訓練の実施。 ・学校休業日等に公共施設やお店等へ外出し、体験の機会を設ける。 ・学校休業日等に公共施設やお店等へ外出し、体験の機会を設ける。 ・チームワークの強化に向けた、専門家による研修。 ・実際の支援場面を想定した事例検討会の実施。 ・チームワークの強化に向けた、情報交換の場を設け																
	主な行事等	・夏祭り ・ハロウィン祭り ・クリスマス会(クラウンショー) ・買い物等の外出														

	事業所名		たけ	ナっこJ				;	支援プロ	コグラム	作成	日	<mark>令和 7</mark> 年	1	月	15 日		
	法人(事業所)理念	子供たちに「シ	遊び」を	通じてして	っかりと体を動	かしても	もらい、氵	楽しみな	ながらでこ	ぼこの一つ一つを埋めていきま	ます。							
	支援方針	れている環境は2.事業所の指導	こ応じて 算員等は	、楽しく習 t、利用者及	習得できる場と 及び児童の意思	して適 ^は 限及び人材	刃な指導。 各を尊重	及び訓練 し、常に	東を行うも こ利用者及	動作を取得し、及び集団生活にのとします。 のとします。 び児童の立場に立ってサービス 福祉サービス事業者、地域の供	スの提供を行う事	事とします	•					
	営業時間	平日 日・祝 9 9 9 時 30 00 00 分から 18 18 18 時 30 00 00 分まで 送迎実施の有無 あり なし																
		支援内容																
	健康・生活	・手指衛生や咳エチケット等の基本的な感染予防行動の定着を図る。 ・利用者の感覚過敏やこだわり特性を考慮した衛生習慣の支援を行う。 ・自己表現の促進を目的とした、安心できる環境の提供。																
	運動・感覚	・感覚遊具を活用した運動プログラムの実施。 ・個々の感覚特性に応じた支援。 ・運動を通じてボディーイメージの向上に繋げる支援。																
本人支援	認知・行動	・メタ認知能力の発達に向けて、自己の思考や行動を客観的に振り返る機会を設ける。 ・感覚統合を活用した活動(感覚刺激を取り入れた課題)を通して新しい状況に適応できる力を育む。 ・自身の意見を適切なに伝え、感情のコントロールを養う。																
	言語 コミュニケーション	・日常生活や様々なシチュエーションに応じた言葉の使い方を学ぶ。 ・遊びや活動を通じた楽しみながら会話をする機会の提供。																
	人間関係 社会性	・他者との適切な関わり方を身につけられる機会を設けることで協調性を高める。 ・遊びや活動を通じて共感することや相手の気持ちを考える力を養う。 ・集団生活でのルールを学び、社会性の向上に向けた支援。																
・発達の状況、支援内容、家庭での困りごとに対して相談の場を設ける。 - 家族支援 - ・家庭や仕事の事情による送迎の支援。 - 家庭や仕事の事情による送迎の支援。 - おおおりでは、一般では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学																		
	地域支援・地域連携	・地域の避難所	沂を確認	とし、実際に	R育園等とも共 に避難訓練の実 5等へ外出し、	施。			丁う。	職員の質の向上	・実際の支援	場面を想え	けた、専門家によ とした事例検討会 こ向けた、情報交	の実施。	設ける。			
	主な行事等	・夏祭り ・ハロウィン祭 ・クリスマス会 ・買い物等のタ	・(クラ	・ウンショー	-)													

	事業所名		たけ	tっこS						支援プロ]グラム	作成	日	令和 7 年	1	月	15 日
	法人(事業所)理念	子供たちに「遊び」を通じてしっかりと体を動かしてもらい、楽しみながらでこぼこの一つ一つを埋めていきます。 1.事業所の指導員は、児童が「楽しさ、遊び」を通して、日常生活における基本動作を取得し、及び集団生活に適応する事ができるよう、その児童の身体及び精神の状況並びにその置か															
	支援方針	れている環境に2.事業所の指導	こ応じて 算員等は	、楽しく	く習得で: 者及び児	きる場と 童の意思 <i>。</i>	して適 ^t 及び人	刃な指導 各を尊重	及び訓練し、常に	東を行うも こ利用者及		スの提供を行う事	事とします	├ 。			
営業時間 平日 日・祝 9 9 9 時 30 00 00 分から 18 18 18 時 30 00 00 分まで 送迎実施の有無 あり なし																	
		支援内容															
	健康・生活	・手指衛生や咳エチケット等の基本的な感染予防行動の定着を図る。 ・利用者の感覚過敏やこだわり特性を考慮した衛生習慣の支援を行う。 ・自己表現の促進を目的とした、安心できる環境の提供。															
	運動・感覚	・感覚遊具を活用した運動プログラムの実施。 ・個々の感覚特性に応じた支援。 ・運動を通じてボディーイメージの向上に繋げる支援。															
本人支援	認知・行動	・メタ認知能力の発達に向けて、自己の思考や行動を客観的に振り返る機会を設ける。 ・感覚統合を活用した活動(感覚刺激を取り入れた課題)を通して新しい状況に適応できる力を育む。 ・自身の意見を適切なに伝え、感情のコントロールを養う。															
	言語コミュニケーション	・日常生活や様々なシチュエーションに応じた言葉の使い方を学ぶ。 ・遊びや活動を通じた楽しみながら会話をする機会の提供。															
	人間関係 社会性	・他者との適切な関わり方を身につけられる機会を設けることで協調性を高める。 ・遊びや活動を通じて共感することや相手の気持ちを考える力を養う。 ・集団生活でのルールを学び、社会性の向上に向けた支援。															
・発達の状況、支援内容、家庭での困りごとに対して相談の場を設ける。 - 家族支援 - ・家庭や仕事の事情による送迎の支援。 - 家庭や仕事の事情による送迎の支援。 - おおおりにはないでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般																	
	地域支援・地域連携	・事業所での5 ・地域の避難所 ・学校休業日等	所を確認	別し、実際	際に避難	訓練の実施	施。			うう。	職員の質の向上	・実際の支援	場面を想	けた、専門家によ 定した事例検討会 に向けた、情報交	の実施。	設ける。	
	主な行事等	・夏祭り ・ハロウィン祭 ・クリスマス会 ・買い物等のタ	会(クラ	ウンショ	∃−)												

	事業所名		たけ	っこ稲沢	2					支援プロ] グラム	作成	ὰ⊟	令和 7 年	1	月	15 日
	法人(事業所)理念	子供たちに「遊び」を通じてしっかりと体を動かしてもらい、楽しみながらでこぼこの一つ一つを埋めていきます。 1.事業所の指導員は、児童が「楽しさ、遊び」を通して、日常生活における基本動作を取得し、及び集団生活に適応する事ができるよう、その児童の身体及び精神の状況並びにその置か															
	支援方針	れている環境は2.事業所の指導	こ応じて 尊員等は	、楽し ^く 、利用	く習得でき 者及び児童	きる場と 童の意思	して適 ^り 及び人	刃な指導 各を尊重	及び訓練 し、常に	東を行うも こ利用者及		`スの提供を行ゔ	事とします	t.			
	営業時間 平日 日・祝 9 9 9 時 30 00 分から 18 18 時 30 00 分まで 送迎実施の有無 あり なし																
		支援内容															
	健康・生活	・手指衛生や咳エチケット等の基本的な感染予防行動の定着を図る。 ・利用者の感覚過敏やこだわり特性を考慮した衛生習慣の支援を行う。 ・自己表現の促進を目的とした、安心できる環境の提供。															
	運動・感覚	・感覚遊具を活用した運動プログラムの実施。 ・個々の感覚特性に応じた支援。 ・運動を通じてボディーイメージの向上に繋げる支援。															
本人支援	認知・行動	・メタ認知能力の発達に向けて、自己の思考や行動を客観的に振り返る機会を設ける。 ・感覚統合を活用した活動(感覚刺激を取り入れた課題)を通して新しい状況に適応できる力を育む。 ・自身の意見を適切なに伝え、感情のコントロールを養う。															
	言語 コミュニケーション	・日常生活や様々なシチュエーションに応じた言葉の使い方を学ぶ。 ・遊びや活動を通じた楽しみながら会話をする機会の提供。															
	人間関係 社会性	・他者との適切な関わり方を身につけられる機会を設けることで協調性を高める。 ・遊びや活動を通じて共感することや相手の気持ちを考える力を養う。 ・集団生活でのルールを学び、社会性の向上に向けた支援。															
・発達の状況、支援内容、家庭での困りごとに対して相談の場を設ける。																	
	地域支援・地域連携	・事業所での ・地域の避難所 ・学校休業日等	所を確認	心、実際	祭に避難詞	訓練の実施	施。			丁 う。	職員の質の向上	・実際の支援	場面を想	けた、専門家によ 定した事例検討会 に向けた、情報交	の実施。	設ける。	
	主な行事等	・夏祭り ・ハロウィン祭 ・クリスマス会 ・買い物等のタ	会(クラ	ウンショ	= -)												